

付託議案

昭和二十年一月三十日（火曜日）午前
十時十四分開會

○委員長(侯爵徳川義親君) ソレデハ
是カラ委員會ヲ開キマス、昨日ニ引續
キマシテ御質問ニ對スル御答ヲ政府委
員カラ御願ヒ致シマス

○政府委員（小笠原三九郎君）

田委員カラ、毎年度公債發行濟額ガ其ノ豫定額ニ比シテ相減少シテ居ルガ、ソレハ無用ノ經費ヲ豫算ニ計上シタ結果、決算上多額ノ不用額ヲ生ジタノハドウ云フコトカト云フ御尋ガゴザイマシタ、ソレニ付テ御答へ申上ゲマス、申ス迄モナク公債ノ發行額ハ必要ノ最小限度ニ止メナケレバナラヌノデゴザイマシテ、毎年度末近クニ相成リマシテ、當該年度ノ決算見込額ヲ調査致シマシテ、歳出財源ニ餘裕ガアリマス場合ニ於キマシテハ、其ノ限度ニ於キマシテ公債發行ヲ差控フルヲ方針ト致シテ居ルノデゴザイマス、其ノ結果毎年度ノ公債發行豫定額ニ比較致シマシテ、相當額ノ發行差控額ヲ生ジテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ額ヲ一般會計ニ付テ申上ゲマス、昭和十二年度ニ於キマシテハ二億千百餘萬圓、昭和十三年度ニ於キマシテハ三億二千二百餘萬圓、昭和十四年度ニ於キマシテハ四億二千九百餘萬圓、昭和十五年度ニ於キマシ

シタ主ナ原因ハ、各年度共、申ス迄モ
ナク普通歳入ノ自然增收ガアリマシタ
コトト、歳出ノ不用額ヲ生ジマシタコ
トドトゴザイマス、之ヲ昭和十八年度ニ
付テ見マス、普通歳入ノ自然增收額
ハ九億八千五百餘萬圓、歳出ノ不用額
ハ十六億八千六百餘萬圓ト云フコトニ

相成ツテ居ルノデゴザイマシテ、ソレ
 カラ歳出ノ不用額ノ一部ヲ以テ追加豫
 算財源ニ充當致シマシタル等、色々ナ
 モノヲ控除致シマシタル額が結局十六億
 三千三百餘萬圓ノ公債發行差控額ニナ
 ツテ居ル次第デゴザイマシテ、歳入ノ
 九億八千五百餘萬圓ノ自然増収ガアル、
 スウ云フコトニナツテ居リマスガ、是
 ハ歳入ノ見積リガ黒田委員ガ御承知ノ
 如ク其ノ性質上堅實ナ見積リヲ致シマ
 スル結果、決算ガ若干ノ自然増収ガ出
 ルコトハ已ムヲ得ナシ所ダト思量致シ
 テ居ルノデゴザイマス、又歳出ノ不用
 額ヲ生ジマシテ主ナルモノヲ御參考ノ
 爲ニ昭和十八年度ニ付テ申上ゲテ見マ
 スト、國庫豫備金ニ於キマシテ、豫算
 超過ハ豫算外支出ガ少キニ依リマシ
 テ七億三千六百餘萬圓、國債整理基金
 特別會計（繰入ニ於キマシテ公債發行
 差控ヘニ依ル公債利子ノ減少デ一億七
 千四百餘萬圓）年金及恩給ニ於キマシテ
 恩給受給者ノ應召増加、恩給ノ裁定ガ

ガ豫想以上ニ圓滑ニ行ハレマシタ。斯
ウ云フコトニ依リマシテ五千餘萬圓、
開墾及土地改良費ニ於キマシテ戰局ノ
推移ニ件フ計畫ノ變更ヲ爲シマシタコト
等テ二千餘萬圓、産業設備建設事業用
施設費ニ於キマシテ、企業整備ノ活用ヲ
豫想以上ニ圓滑ニ行ハレマシタコト著

ニ依リマシテ五千九百餘萬圓、中小商工業対策費ニ於キマシテ同様ナ事由ニ依リマシテ六千九百餘萬圓、重要物資管理費ニ於キマシテ戦局ノ推移ニ件フ計畫ノ變更ニ依リマシテ六千餘萬圓、計十四億五千三百餘萬圓デゴザイマス、戦局ノ推移及ビ之ニ件フ經濟事情ノ變化ヲ容易ニ豫測シ得ザル現下ノ情勢ニ於キマシテ、若干ノ不用額ヲ生ジマスルコトハ、御諒承ガ願ヘルト思フノデアリマシテ、豫算ニ計上致シマスル時ハ相當嚴重ニ計上スルノデゴザイマスガ、斯様ナ事情ノ下ニ公債發行差控額ガ相當數ニ上ルノデアリマシテ、其ノ邊御諒承ヲ賜リタイト存ジマス。

○委員長(侯爵德川義親君) 昨日ドナタカ、朝鮮ノコトニ付テ御質問ガゴザイマシタデセウカ

○諸橋久太郎君 諸橋デス、私ノ質問ハ朝鮮ニ於ケル食糧ノ生産、供出、配給ヲ確保スル爲ノ補給金竝ニ石炭、化學肥料ト鐵鋼、輕金屬ノ補給金ガ、既

補給金ノ高及ビ其ノ生産額、既往年
度ニ於テ幾ラ出テ、ソレニ對スル補給
金ハ幾ラデアツタカト云フコトヲ拜聽
シタイ、ソレカラ今回ノ四億七千四百
三十萬圓ノ内譯ハドウ云フ風ニシテ御
使用サレルノカト云フヤウナコトヲ承
リタイノデス

○政府委員(水田直昌君) 只今ノ御質問ノ中ノ既往ニ於キマシテ、米ノ補給金トシテ幾ノ支出致シタカト云フ計數ニ付キマシテハ、調査致シマシテ御答致スコトニ御了承ヲ願ヒマス、米ノ生産高ニ付キマシテ御答ヘ致シマス、朝鮮ハ此ノ昭和十四年迄ハマア大體、色色高下ハアリマスルガ、順調ナ生産内容ヲ迎ツテ參リマシタガ、昭和十四年ノ秋ニ未會有ノ大旱魃ガゴザイマシテ、平均收穫量ニ比ベマシテ、凡ソ千萬石程度ノ減收ヲ見タ譯デアリマシテ、昭和十四年ノ生産ガ千四百餘萬石ト云フコトニ相成ツテ居リマス、十五年、十六年、此ノ二箇年ハ大體宜シウゴザイマス、十五年ガ千二百餘萬石、十六年ニ千四百八十萬石、マア二千五百萬石程度ノ收量ガゴザイマシタガ、十七年ニナリマシテ、是亦昭和十四年ニ次ゲン魃ノ爲ニ非常ナ減收ニナリマシテ、○石ト云フコトニナリマシタ、一昨年ハ稍、宜シウゴザイマシタガ、尙且○

マシタヤウナ平年作ガ大體二千三百萬石ト豫定致シテ居リマスガ、ソレヲ下廻ルト云フ狀況ニ相成ツテ居リマス、次に御尋ノ四億七千四百三十萬圓ト云フ、此ノ只今御審議ヲ願ツテ居リマスガ、僕ノ使用ハ如何ナル内容有スルカト云フ御尋デアリマスガ、四億七千四百

百三十萬圓ノ中、現行法定額三億一千餘萬圓ヲ差引キマス、今回新タニ追加計上ノ御願ハ致シテ居リマスノガ一億六千三百五十萬圓、一億六千三百五十萬圓ガ今回ノ増加デアリマス、其ノ必要ト致シマスル目的別ニ大體申シマスル、食糧ノ供出及配給確保獎勵ノ爲ノ獎勵金助成金、是ガ二千二百四十六萬餘圓、石炭及化學肥料ノ價格調整、此ノ爲ノ經費ガ九千九百四十一萬餘圓、石炭等ノ特別價格報奨、石炭、鐵礦石、輕金屬等ノ特別價格報奨、是ガ千二百二十二萬餘圓、鐵鋼等ノ原單位切下ノ報獎金、此ノ爲ノ經費ト致シマシテ二百八十五萬餘圓、企業整備ノ經費ト致シマシテ千七百四十九萬圓、以上合計致シマシテ一億六千三百四十五萬圓ニ相成リマス、ソレヲ十萬圓單位ニ切上ゲマシテ、一億六千三百五十萬圓ト云フノ今回追加致シマシテ、合計トシテ四億七千四百三十萬圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス

○委員長(侯爵德川義親君) 只今大臣

ガオイデニナツテ居リマスノデ、大臣ニ對スル御質問ガゴザイマシタナラバ、此ノ際ドウゾ願ヒマス、大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌデセウカ、外ニ何カ御質問ハナイデゴザイマセウカ

○諸橋久太郎君 大臣ガ御見エデゴザイマスノデ申上ゲマスガ、非常ニ多額ノ國家資金ノ放出ガゴザイマスノデ、「インフレーション」ノ傾向ガ非常ニ多イノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ對策ガドウヤウニ講セラレテ居ルノデアリマセウカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 戰時財政

ノ運行ニ付キマシテハ、實收入ヲ以テ之ヲ支辨致シマスコト極メテ困難デアリマスノデ、其ノ多クノ部分ヲ公債ニ依リマスコトハ、勢ヒ已ムヲ得ザル點デアルト思フノデアリマス、公債ヲ發行致シテ財政ノ運営ヲヤツテ行キマス場合ニハ、必ズ其ノ公債ヲ全部消化シテシマフト云フコトハ、是ハ理想デアリマスガ、是亦今日ノヤウチ大キナ戰爭ノ場合ニ於キマシテハ出來得ザルコトデアアルノデアリマシテ、孰レノ國ニ於キマシテモ公債ノ全額消化ト云フコトハナカノムヅカシイ問題デアリマス、孰レニ於テモ公債ガ多少殘ルノデアリマス、又全國國民總動員ヲ致シマシテ働カナクレバイカスト云フコトニ相成ツテ來ルノデアリマスカラ、假令資金ガ昂騰致サズトモ、資金支拂ノ増加ト云フコトガ國全體トシテハ著シク殖エテ來ル傾向ニ相成ツテ來ルノデアリマス、謂ハバ通貨ガ膨脹スル譯デアリマス、各種ノ原因カラ致シマシテ通貨ガ膨脹致シテ來ルト云フコトハ免レナイ現象デアルト思ヒマス、通貨

ノ膨脹ト同時ニ、矢張り一般ノ物資、一般ニ消費致シマスル物資ガ減少ヲ致シテ來ルト云フコトモ、是亦戰時經濟ノ一ツノ特徵デアアルノデアリマスカラ、多カレ少カレ所謂「インフレ」ノ狀況ガ起ツテ來ルコトハ免レナイト思フノデアリマス、併シナガラ是等ハ各方面ヨリ致シマシテ、此ノ通貨ノ膨脹ヨリ生ズル所ノ弊害ヲ防イデ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、一面ニ於キマシテハ資金放出ノ問題デアリマスガ、財政資金ト産業資金、此ノ兩方ノ資金ガ相當放出致サレルノデアリマシテ、其ノ放出致サレル途ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ戰爭ニ必要ナ資金ハ十分ニ廻スト共ニ、又出過ぎナイヤウニ注意致シテ行ク必要ハ勿論アルト思ヒマス、斯カル見地カラ致シマシテ、財政ノ必要不急ト認メラレモノニ付テハ、出來ルダケ之ヲ抑ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマス、殊ニ産業資金ノ方面ニ付キマシテハ、大藏省ト致シマシテハ從來トモ骨ヲ折ツテ居ツタノデアリマスガ、今後更ニ一層有效適切ニ此ノ資金ノ効率化ヲ圖ツテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、斯カル見地ヨリ致シマシテ今回軍需會社ノ金融機關ニ關スル法律案ヲ提出致シテ御審議ヲ御願ヒシテ居ルヤウナ次第デアリマス、一度放出ヲ致サレマシタ資金ニ付キマシテハ、出來得ル限り之ヲ回收ヲ致スコトガ必要デアリマスコト申ス迄モゴザイマセヌ、昭和十三年來貯蓄ノ増

強ニ努メテ來タノデアリマスガ、幸ニ致シマシテ貯蓄ノ増強狀態ハ非常ナ勢ヲ以テ進ミツ、アルノデアリマスガ、來年度ニ於キマシテハ本年ヨリモ一層産業資金、財政資金ノ増大ヲ必要トスル譯デアリマシテ、此ノ戰時ノ段階ニ於キマシテ資金ノ増大ヲ見コトハ必至デアリマスカラ、之ニ對シマシテハ更ニ一層貯蓄ノ増強ニ努メネバナラヌト存ジマスノデ、此ノ貯蓄ノ増強ノコトニ付キマシテハ、大藏省トシテハ從來ノ大道ヲ一層進ミタイト思ツテ居ルノデアリマスガ、更ニ法律ヲ改正致シマシテ、貯蓄ノ増強ニ更ニ一段ノ廣サト深サト加ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、是等ニ付テモ別途法律案ヲ提出致シテ居ル次第デアリマスガ、併シナガラ法律ヲ必要ト致シマスモノハ改正法律案ノ御審議ヲ願ツテ居ルノデアリマスガ、法律ヲ必要トシナイ部面ニ於キマシテモ、更ニ一層ノ強力サヲ以テ貯蓄増強ニ邁進致シタイト思フノデアリマス、更ニ此ノ「インフレ」傾向ノ問題ハ、單リ資金ノ場合ノミニ限リマセズ、一方ニ於テハ物自體カラ生ジテ來ル方面ニ於キマシテモ、之ヲ餘程考ヘテ參ラナクレバナラヌト思フノデアリマス、殊ニ食糧ノ問題デアリマスガ、食糧ガ不足勝チニ相成ツテ來マス、ドウシテモ物價ノ昂騰ガ激化致スノデアリマス、大東亞共榮圈ニ於キマスル物價昂騰ノ著シキ方面ハ孰レモ此ノ食糧ノ不足勝チナ方面デアリマス、食糧ノ豐富ナ方面ニ於テハ此ノ勢ガ弱イノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、今日ノ此ノ段階ニ於キマシテ、我が國ノ食糧増産ノ問題ニ付キマシテハ政府ト致シマシテモモツト本當ニ力ヲ加ヘ、又他ノ部面ニ於テモ

此ノ食糧増産ノ爲ニハ幾多ノ費用ヲ計上シテ居ル譯デアリマス、同時ニ小運送ノ問題デアリマスガ、食糧ガ増産致サレマシテモ、ソレガ運搬ガ出來ヌト云フコトデアリマスレバ、ソレハ結局増産ガ出來ナイヤウナ狀態ト同ジデアリマス、從ヒマシテ一方ニ於キマシテハ此ノ小運送ノ強化ノ問題モアルノデアリマス、又勞務ノ問題モ勿論デアリマス、殊ニ自由勞務者ノ勞務ノ問題デアリマスガ、此ノ自由勞務者ノ勞務ガユコ一兩年非常ナ昂騰ヲ致シタコトハ御存ジノ通りデアリマス、是ハ數年來厚生省方面ニ於キマシテ、或ハ勞務報國會ノ強化ヲ圖リ、又勞務ヲ適正ナラシムベク、或ハ罰則ノ新設等ニ依リ、各方面カラ致シマシテ、自由勞務者ニ對シマスル所ノ勞務ノ昂騰ヲ抑ヘテ行カウト云フ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、各方面カラ綜合的ニ色々施策ガ講ゼラレマシテ、「インフレ」ヲ抑ヘテ行キ、サウシテ後ニ於ケル所ノ經濟秩序ト云フモノヲ保ツテ行ク必要ガアルダラウコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、今回政府ニ於キマシテモ内閣總理大臣ヲ會長トスル所ノ物價審議會ヲ設ケマシテ、サウシテ此ノ物價審議會ニ依ツテ綜合的ニ於キマシテハ、斯クノ如キコトハ絕對ニ必要デアルト存ゼラレルノデアリマス、同時ニ又國民ノ方面ニ於テモ、ドウモ斯ウ「インフレ」氣味ニナツテハイカヌト云フヤウナ考ヘ方カラ致シマシテ、兎角此ノ資金ト云フモノヲ輕考ヘ、金ヲ馬鹿ニスルト云ツテハ語弊ガアリマスガ、金ヲ輕考ヘル傾向ノナイヤウニ、其ノコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス

○諸橋久太郎君 有難ウゴザイマシタ、

只今ノ問題ハ重大問題デゴザイマスノデ、ドウカ一層御努力ヲ願ヒマス、有難ウゴザイマシタ

○委員長(侯爵德川義親君) 尙引續イ

テ大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセウカ

○男爵周布泰道君 我ハチヨツト、少

シ直接ノ御質問デヤナイノデスガ、丁度大臣ガ見エテ居ラレマスカラ、此ノ機會ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、今回ノ稅ノ改正デゴザイマスガ、ソレニ依リマシテモ、所謂新興所得者ト云フヤウナ方面ノ、金ヲ吸收スルト云フヤウナコトハ、出來テ居ラヌヤウデゴザイマスガ、是ハ色々問題ニナツテ居リマスケレドモ、今回ハ取敢ヘズ六種デゴザイマスカ、税金ヲ御上ニナル、是ハ手取早クテ非常ニ宜シイコトデスケレドモ、只今「インフレ」ニ付テノ御心配ノ御話ガ出マシケレドモ、實例ヲ見マスト云フト、サウ云フ方面カラナカナカ盛ニ、所謂其ノ闇行爲ト云フコトガ實際ニ行ハレテ居ル、是ハ實地問題トシテ幾ラモ例ヲ聞イテ居リマスケレドモ、ナカノムヅカシイ流スノデアリマス、ソレガ世ノ中ノ「インフレ」ノ非常ニ私ハ助長シテ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ方面ヲ抑ヘマシテ、只今綜合的ト云フ抽象的ノ御話モゴザイマシタケレドモ、無論ソレモ私ハ大原因ナンデスカラ、サウ云フヤウナコトハ、成ルベク早イ機會ニ御考ヘ下スツテ、何トカ方法ヲ此ノ方面ニ對シテ御執リヲ願ツタ方ガ宜イト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 自由勞務

者ノ方面ノ課稅ニ付キマシテハ、昨年賀屋大藏大臣ガ、特ニ源泉課稅ノ方面ニ付テ考慮サレ、ソレヲ目下實行致シ

テ居ルノデアリマス、豫算ト致シマシ
テハ其ノ方面カラ五千萬圓徵收スルコ
トニナツテ居ツタデアリマスガ、現
實ノ問題トシテハ一億圓ヲ超エテ居ル
ヤウデアリマス、相當自由勞務者ノ方
面カラ課稅ヲ致シマスコトニ付キマシ
テハ、相當ナ效果ヲ擧ゲテ居ルト思フ
ノデアリマス、併シナガラナカ／＼ム
ツカシイ點ガアルノデアリマシテ、結
局源泉課稅ヲ何人ガ負擔スルカ、勞務
者ガ負擔スルカ、傭ツテ居ル方ガ負擔
スルカ、ナカ／＼今日ノ狀態ニ於キマ
シテハ、自由勞務者ノ力ガ強イモノデ
アリマスカラ、課稅シタダケガ傭主ノ
負擔ニナツテ居ル實例ガアリマス、全部
ガ全部デアリマスマイガ、是ハ自由
勞務者ガ直接自分負擔シテ居ルノモ
アリマセウガ、却テ傭主ノ負擔ニナツ
テシマツテ居ルト云フヤウナ場合モア
ルカト思フノデアリマスガ、併シナガ
ラソレハ孰レニ致シマシテモ、兎ニ角
昨年來ノ課稅ニ於テ、相當ナ實績ヲ擧
ゲテ居ルノデアリマス、併シナガラ自
由勞務者ニ對シマスル租稅ノ問題ハ、
稅制ノ問題デモアリマセウ、稅法ノ問
題デモアリマセウ、其ノ多クノ部分、
殆ト全部ト云フノガ稅務行政ノ問題デ
アリマス、即チ稅務ノ執行ヲ如何ニシ
テサウ云フ人達ノ所得ト云フモノヲ調
ベルカト云フ問題ニ掛ツテ居ルノデア
リマシテ、今日ノ稅法ニ於キマシテモ、
サウ云フ人達ハ當然納稅ヲ致スコトニ
相成ツテ居リ、又稅金ヲ納メナケレバ
イカヌコトニナツテ居ルノデアリマシ
テ、如何様ニ稅法ヲ改正シマシテモ、
稅制ヲ作リマシテモ、實際ガ調査ガ不
十分デアリ、調査ノコトガ困難デア
ルコト云フコトデアリマスレバ、如何ニ其
ノ稅法ヲ整備致シマシテモ、實行上致

果ガ擧ラナイト云フコトニナルノデア
リマス、今世ノ中デ言ハレテ居リマス
新興階級ノ問題ハ、一ツハ自由勞務者
ノ問題デアリマセウ、一ツハ町工場
等ノ小サイ工場ノ工場主ノ收入ノ問題
デアリマセウ、一ツハ都會附近ニ於テ、
所謂闇賣所ノ農家ノ問題デアルト
思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ所
得ト云フモノハ、今日ノ稅法ニ於テ當
然課稅ヲ受クルモノデアリマシテ、ソ
レハ課稅ヲシナイト云フ譯デアリマ
セウケレドモ、實際ニ調ベルコトガ困
難ニナル結果、ドウモ稅ヲ納メナイ人
ガ相當居ルト、斯ウ云フコトニ相成ツ
テ居ルト思フノデアリマス、左様ナ見
地カラ致シマシテ、今回ハ新興階級ニ
對シテ、特別ナル稅法、稅制ノ規定ハ
致シテゴザイマセウガ、稅務ノ實際ニ
當リマシテ、稅務ノ主力ヲ以テ左様ナ
方面ノ調ベニ當リタイト存ジテ居リマ
ス、其ノ爲メ昭和二十年度ノ豫算ニ於
キマシテハ、稅務行政ノ左様ナ方面ニ
對スル調ベノ經費ヲ要求致シテ居ルノ
次第デアリマシテ、是モ果シテレダ
ケノ調ベガアリマスカ、私モ此處デ必ズ
是ダケノモノガ調バルト云フコトヲ、申
上ゲル程ノ勇氣モゴザイマセウガ、出
來ル限りノ調ベヲ其ノ方面ニ對シテヤ
ツテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、左様御了承願ヒマス

○男爵岡田兼道君 モウ一ツ此ノ機會
ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、今
日公定相場ニ依ツテ賣買ノモノガ相當
出來マシタケレドモ、其ノ公定相場ナ
ルモノガ、實際上ニ即シテ居ラヌモノ
ガ段々アリマス爲メ、賣買シマス上ニ
於テ、業者ガ損失ヲ忍ビテ行カナケレ
バナラヌト云フヤウナコトノ爲メ、自
然閣相場ト申シマスカ、闇行爲ガ出テ
居ルノデアリマス、是モ實際上ヲ見マ
スト、事實食糧ニシマシテモ、何ニシ
テモ最低量ヲ確保サレテ居ルノナラバ
宜シウゴザイマセウケレドモ、是ハ平均
致シテ見マシテ、大部分ノ人ガ食糧ノ
不足ヲ告ゲテ居ル際デゴザイマス、尙
食糧ノミデヤゴザイマセウ、總テノ資
材ニシマシテモ、自然矢張り需要供給
ノ原則ト申シマスカ、經濟上ノ法則カ
ラ行キマシテモ、ドウシテモ價格ガ上
ツテ來ル、ソコデ金ノアル者ハ、ソレ
ヲ何トカシテ手ニ入レル、又入レナケ
レバ事實目的ヲ達セラレナイ、何モソ
レガ惡イ目的ノ爲メデナクテモ、當然ノ
コトヲスルノニ對シテ、既ニサウ云フ
感ガアル、ソレガ非常ニ矢張り世ノ中
ノ「インフレ」ニ大原因ヲシテ來ルノデ
ゴザイマスガ、一日ニ申セバ惡イ言葉
デアリマスケレドモ、今日世間デ言ハ
レテ居ルノニハ、何ト申シマスカ要領
好クアル者ガ一番便宜ヲ得ルト申シマ
スカ、得ヲスルト云フコトヲ聞クノデ
アリマス、誠ニ是ハ宜シクナイ言葉デ、
サウ云フコトハ實ニ心外ナコトナンデ
アリマスケレドモ、ドウモ又サウ云フ
コトガ實際上廣クアル以上ハ、非常ニ
是ハ弊害ヲ一方ニハ莫カラ醸シテ居ル
譯デアリマス、是モ物資ガ不足デア
ルノガ其ノ根本デゴザイマセウケレドモ、
此ノ邊ニ付テ御意見ヲ此ノ際伺ツテ見
タイト思フノデアリマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 物資ガ不
足勝チニ相成ツテ來ル、從ツテ其ノ物
資ニ對シテ放ツテ置キマスレバ、物價
ガ段々暴騰ヲ致シテ來ル、其ノ物價ノ
騰貴ヲ致シテ來ルノヲ、國ノ政治力ヲ
以テ之ヲ抑ヘテ行ク、是ガ此ノ戰爭經
濟ニ於キマスル一ツノ重要ナ方策デア
リマス、統制經濟ト云ヒ、計畫經濟ト
云ヒ、ソレモ左様ナ粹ニ入ツテ來ルト
思フノデアリマス、從ツテ經濟ノ原則
ヲ政治ヲ以テ此ノ方向ヲ抑ヘテ行ク
コトヲ云フコトガ孰レノ國デモ行ツテ居
ス矢張り政治經濟ノ一ツノ根幹デア
ルト思フノデアリマス、併シナガラ其處
ニハ物資ノ需要供給ニ應ジテ起ル所ノ所
謂闇相場ト云フモノガ出テ來ル、其ノ闇
相場ヲ出來ルダケ少クシテ、サウシテ政
府ノ政治ヲ以テ經濟ノ方向ヲ指示シタ
ルノ價格ト云フモノニ依ツテ國民ヲ生
活セシメテ行クコト云フコトガ望マシ
イコトデアルト考ヘテ居リマス、要スル
ニ其ノ間ノ廣サ大キサデアツテ、何時
如何ナル國ニ於テモ、闇相場ト云フモ
ノガ絕對ニ起ラヌト云フコトハナイ、其
處ニ或程度ノモノハアルト私ハ思フノ
デアリマス、支那ニ於テモ現在公定相
場ト云フモノガアリマスガ、殆ト公定
相場ガ行ハレテ居ラナイ、其ノ公定相
場ガ守ラレテ居ラナイ、斯様ナ狀況デ
アルト思フノデアリマス、マア一般物
價ノ問題デ徹底シタ行政ガ行ハレテ居
リマス所ハ日本デアリマスガ、孰レニ
致シマシテモ、一ツハ政府ノ指導ニ、
又色々ナ運行ニ關スル法規ノ制定ニ依
リマスト共ニ、又一面ニ於テハ戰フ國
民ノ心構ヘノ問題デアルト思ヒマス、
デ、今御話ニナリマシタヤウニ闇行ハ
レテ來テ居ル、或ハ闇ノ物資ガ餘計ニ
相成ツテ來テ居リマスコトハ、或ハ左
様ナ狀態デアアルカト思フノデアリマ
ス、今後ニ於キマシテモ、政府トシマ
シテハ出來ル限り公定物價ノ方面ニ多
クノ物資ガ流レルコトヲ考ヘ、又國民
自體ニ於テモ、此ノ戰時ニ於ケル所ノ生
活ト云フモノハ、公定物價ト云フモノヲ
ドウシテモ行ハナケレバイカヌト云フ
コトノ確信ノ下ニ經濟行爲ヲヤツテ行

カレル必要ガアルト思フノデアリマシ
テ、政府モ亦一般ノ國民モ共々ニ戰爭
ニ勝ツ爲メ政府ノ方針ノ嚴守ト云フ方
向ニ此ノ上トモ努力シテ行ク必要ガア
ルト存ジマス、政府トシマシテモ、國
民ガ其ノ方向ニ向ツテ來ル爲メ萬策ヲ
盡ス考デアリマス

○男爵岡田兼道君 是ハ誠ニ重大デ、
ムツカシイ問題デゴザイマシテ、今ノ
御答辯ニ依ツテ委細承知致シマシタケ
レドモ、何分ニモ國民各自ガ皆ソレヲ
辨ヘテ、戰爭ニ勝ツ爲メ善處スルト云
フコトハ當然デアリマスケレドモ、實
際生活上ノ困難ガアリマス場合ニハ、
或程度以上バソレヲ堪ヘ忍ビテ行ク
コトハムツカシイモノデゴザイマ
スカラ、ソレデ政府ノ方カラノ供給ナ
リガ、十分ニナツテ居リマスレバ、何
モ好シデ、是ハ食糧問題ヲ一例トシ
申上ゲマスガ、醬油ナ食物ヲ取ラウト
カ、欲シイトカ云フ方面デナクシテ、
所謂最低量確保ト云フ意味カラ行キマ
シテモ、ソレガ取レナイ爲メ、勢ヒド
ウシテモ是ハ公定ダケハ行カナイト
云フコトニナリマス、ソコヘ餘程ノ
抑制ノ力ヲ加ヘマセスト、事實如何ト
モ仕方ガナイ問題ダラウト思フノデア
リマス、ト云ツテ、今斷乎トシテ非常
ナ強力ナ罰則デモ設ケテ、ドン／＼ヤ
ツテ行キマシタナラバ、ソレハ或ハ出
來ルカモ知レマセウガ、ソレデヤ國民
モヤツテ行カレナイト云フ譯ニナリマ
スノデ、非常ニ此處ハ心配ニ堪ヘナイ
ノデゴザイマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 具體的ノ
コトヲ申上ゲマスレバ、昨年ノ秋東京
邊リデ大分食物ノ配給ガ良クナツテ來
タ、米ノ配給以外ニ芋ノ配給モ出ル、
斯様ナ狀態ニ相成ツテ來マシタ處ガ、

闇モ實際ニ於テハ大分減ジテ來ル、闇ノ買出シモ行カナイト云フコトニ相成ツテ來ルマスカラ、物資モ餘計ニ相成ツテ來ル、斯様ナコトガ循環致シテ行キマシテ、一時大分緩和致シタヤウナコトモアル、ソレハ又一面ニ於テハ闇物價モ落チル、斯ウ云フヤウナコトニ相成ツテ來タノデアリマス、昨今ハ冬枯レノ時期デアリマスノデ、多少野菜物等ノ配給モ一時カラ見タラ減ツテ居ルト思フノデアリマスガ、併シナガラ左様ナコトカラ考ヘテ見マスレバ、大體ハ私ガ今申シタ通りダト思フノデアリマスガ、是ハ現實ノ問題ニ取ツテ見マスレバ、矢張り此處ニ増産ト云フ問題ガ是非トモ必要ナノデアリマス、出來ル限り供給ヲ致ス、而シテ配給物資ヲ以テ生活ヲシテ行ク、左様ナ方向ニ少シデモ好ク行クヤウニ致シマスレバ、反對ニ闇ト云フモノハ漸次減ツテ行クト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、左様ナ見地カラ致シマシテ、私ハ先程モ申上ゲマシタ通り、食糧ノ増産ト云フコトガ矢張り戰時下ニ於テハ一ツノ大事ナ題目トシテ取上ゲラレネバ、ナラス問題デアルト存ジマス、來年度ニ於テキマシテモ、麥、諸等ニ付キマシテ、相當大規模ナ増産ヲ行フ、殊ニ諸類ニ付テハ非常ニ大キナ増産計畫ガ立テラレテ居ルノデアリマス、左様ナ増産計畫ノ結果物ガ出來テ來テ、國民ノ食糧ト云フモノハ心配ガ要ラヌ、斯様ナコトニ相成ツテ來マスカラ、此ノ食物ニ對スル闇ノ關係ト云フモノハ、グント減ツテ來ルノデアリマイカト思フノデアリマス、ソレガ減ル以上ハ從ツテ他ノ闇相場ト云フモノモ自然減ツテ來ルト云フコトニ相成ツテ來ルカト思フノデアリマス、唯食料ノ中デモ砂糖デ

アルトカ、サウ云フヤウナ外地カラ持ツテ來ルヤウナ物資、殊ニ海ヲ隔テ遠方カラ持ツテ來ルヤウナ物資ニ付テハ、是ハサウ殖エル譯ニモ行キマセヌシ、又或ハ今日ヨリモツト減ツテ來ルヤウナ狀態ニナツテ來ルカト思ヒマスガ、是ナクテハ生キテ行カレナイト云フヤウナ、サウ云フヤウナ物資ガ相當豐富ニナツテ來ルト云フコトハ、一面カラ行キマシテ、統後ノ闇物價ト云フモノヲ是正スル方向ニ進ムノ力強イ貢獻ヲスルモノデアルト存ジテ居リマス

○男爵周布達道君 只今具體的ナ御話ガゴザイマシタ、ソレニ付テ私モ具體的ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、東京都ニ於テ御話デゴザイマシタ、實ハ東京都ハ今日私ガ聞ク所デハ、割合ニ此ノ頃配給其ノ他モ好クナツタト云フコトハ聞イテ居リマス、併シ東京都以外ノ都市ニ於テ、殊ニ小都市ナドハ、之ニ準ズルト申シマスガ、之ヲ見做フヤウナコトニナツテ居リマス程度ノ都市ニ於テハ、非常ニ配給ガ少イ、サウ云フ實情ナドヲ私ハ知ツテ居リマスノデ、非常ニ心配ノ餘リ先程御問ヲ申上ゲタノデアリマス、東京都ハ或ハ私ノ觀察ガ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角人口モ多イノデアリマス、非常ニ一箇所ニ集ツテ居ルノデアリマスカラ、重點的ニ矢張り色々御考ニナリ、力ヲ盡シテ居ラレバ、ソレ以外ノ小都市ニ於テキマシテハ、少シ言葉ハ強イカモ存ジマセヌガ、相當慘メナ狀態ノ所モアルヤウニ思ヒマス、サウ云フ所ガ實際上配給ヲ受ケテ居リマス物ダケデ、ドウシテヤツテ行ケルカト云フコトハ、ソレハ善處ハシテ居ルノデゴザイマセウガ、不思議ニ思フ位デアリ

マス、私ハ心配ノ餘リ申上ゲタノデアリマスガ、ドウカ地方ト申シマスガ、東京以外ノ方面ニモ、全般的ニ一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○松本學君 昨日缺席シマシタノデ、是カラ御尋ネスルコトハ、或ハटनाカラ御尋ネスルコトハ、或ハマス、若シ重複スルヤウデアリマシタラ、委員長カラ御注意ヲ願ヒマス、大臣ガ丁度オイデニナツテ居リマスカラ、サウシテ誠ニ是ハ迂闊ナ質問ノヤウデアリマスガ、法律關係ナドヲ能ク存ジマセヌノデ何フ譯デアリマス、此ノ法律案ト直接ノ關係ノアル譯デハナイノデアリマス、間接ニハ相當重要ナ關係ガアルト思ヒマス、ソレハ支那ノ物價ガ非常ニ昂騰シテ居リマスガ、ソレニ依ツテ日本ノ資金關係ニ相當影響ガアルヤウニ思ヒマスノデ、中支方面ニ於ケル圓ト元トノ關係ハ、大體法定ノ割合ハ決ツテ居リマスガ、事實ニ於テハ其ノ割合ヲ突破シテ非常ナ差ガ出來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、北支ニ於テハ圓元ハ「バー」デアリマス、在留日本人ガ相當長イ間資金ヲ投ジテ事業ヲヤツテ居ツタ、物價昂騰、「インフレ」ノ結果、例ヲ北支ニ取ツテ見マスレバ、ソレガ是迄投資シタ金額ノ何十倍ト云フ金額ニ上ツテ居ルヤウデアリマス、是ハホソノ一例デアリマスガ、先達テモ滿洲國商ナツテ居ル者ガ、此ノ戰爭前ニ仕入レタ商品等ヲ引揚ニ依ツテ賣拂ツテ來ル、一ツノ滿洲國一萬圓位ニナツテ居ル、向フノ金トシテ引揚ノ資金ガ百萬トカ百五十萬トカニナツテ、北支ノ金ヲ持ツテ日本ニ歸ツテ來タガ、支那ノ内地ヲ旅行スル爲ニ、旅費二十萬圓位ノ金ヲ使ツテモ相當ニ圓ガ懷口ニ殘ツテ日本ニ引揚ゲテ來ル、無

論北支ノ金ヲ日本ニ入レルニハ、資金ノ制限ガアリマスカラ、日本ニ現在入ラヌト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、段々引揚ゲル者ガ多クナツテ、向フノ圓ヲコチラニ持ツテ來ルト云フ場合ニ於テハ、相當日本ノ内地ニ於テ金ノダブツト云フヤウナコトガ、或程度アルノデハナイカト云フ風ニ思ハルノデアリマス、今日内地ニ於テモ相當「インフレ」ガ起ツテ居ル、「インフレ」ト云フコトガ嚴格ナ意味ノ「インフレ」デハナイガ、今日迄非常ニ脅カサレテ、公定價格ハ決ツテ居リマスガ、實際ニ於テ闇ガ行ハレテ、私ノ生活ガ脅カサレテ居ル、其ノ時ニ段々支那カラ引揚ノ人ガ多クナツテ、何十倍ニナツテ居ル圓ヲコチラニ持ツテ來ルコトニナルト、相當大キナ問題デハナイカト思ヒマス、私ハ十分研究シテ居リマセヌカラ、ソレ等ノ對策ヲモウ既ニ政府御立テニナツテ居ルト思フノデアリマスガ、チヨット伺ツテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 支那カラ引揚ゲテ來ル者ニ付キマシテハ、ソレゾレ爲替ト云ウテハ少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、爲替管理ニ依リマシテ、ソレハ制限ヲ致シテ居ル次第デアリマス、支那カラ引揚ゲテ來ル者ハ、アチラニ居ル所ノ資金ヲコチラニ全部持チ歸ルト云フコトデアリマシテハ、コチラニ於テモ相當金ガダブツトコトヲ承知致スノデアリマス、左様ナコトノナイヤウニ措置ヲ執ツテ居ル次第デアリマス

○松本學君 爲替管理ト云フ、必ズシモ嚴格ナ意味ノ爲替管理デナイカモ知レマセヌ、資金ノ額ニ於テハ制限ノアルコトモ存ジテ居リマスガ、併シ只今

ノ御方針トシテ、ト云フコトモ能ク分ルノデアリマスケレドモ、只今決ツテ居リマス程度ノ制限、或ハ其ノ制限ヲドウ云フ風ニスルカト云フコト、ソレカラ支那カラコチラハ引揚ゲテ來ル、其ノ資金ヲ如何ニ之ヲ消化シテ行クカ、之ヲ市場ニ出セバ大變ナコトデアリマスガ、ソレ等ニ付テハ何カ具體的ナ御方針ヲ立ツテ居リマセウカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 支那カラ引揚ゲテ來マス場合ニ、是ハ色々ナ金ガアルト思フノデアリマスガ、先方ニ於テ物價騰貴ノ爲ニ儲カツテ居ルト云フヤウナ、其ノ金ニ付キマシテハ、一定限度以上ハ現地デ貯金ヲ致シメタイト思ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ、コチラヘ持ツテ歸ル金ハ先方ニ於テ預金ヲスルヤウニ、其ノ預金ヲシナイト云フコトナラバ、コチラニ引揚ゲテ來ルコトヲ認メナイト云フヤウナコトニ致シタイト思ツテ居リマス、ソレデ一ツハ現地ニ於ケル預金ノ増加ヲ圖リタイト云フヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、唯コチラニ引揚ゲテ來マシタ金ハ、ソレヲ特殊預金トシテ封鎖、一定期間ノ封鎖ヲ致シ置キタイトモ思ツテ居リマス、又公債ノ賣レ殘ツテ居リマスモノモ、日本銀行ニ相當額アルノデアリマスカラ、左様ナ公債ヲ買ハセルトカ、又其ノ買ツタ公債ヲ賣ラナイヤウニスル、又一定期間預金シテ之ヲ置イテオク、左様ナ措置ヲ執ツテ居ル次第デアリマス

○松本學君 此ノ赤字公債ノ法案ト、間接ニ關係ガアルト申シマシタノハ、只今大臣ノ御話ノヤウニ、此ノ公債ノ消化ナドヲ、ドノ程度ノ資金ガ支那カラ入ルカ分リマセヌガ、併シ相當、將來、近イ中ニ入ツテ來ヤセヌカト思ハ

○松本學君 爲替管理ト云フ、必ズシモ嚴格ナ意味ノ爲替管理デナイカモ知レマセヌ、資金ノ額ニ於テハ制限ノアルコトモ存ジテ居リマスガ、併シ只今

○松本學君 爲替管理ト云フ、必ズシモ嚴格ナ意味ノ爲替管理デナイカモ知レマセヌ、資金ノ額ニ於テハ制限ノアルコトモ存ジテ居リマスガ、併シ只今

レマスカラ、其ノ消化ニ御充テニナルト云フヤウナコトガ、一ツノ案ダラウト思ヒマス、今其ノ御答辯ヲ得テ満足デアリマスガ、唯之ヲ本人ノ自由意思ニ委セテ措置シマスカ、或ハ之ヲ法律ヲ拘束ト云フコトモ如何カトモ思ヒマサガ、何カ是等ノコトニ付テ御對案ガアルデアリマセウカ伺ツテ置キマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) ソレハ爲替ヲ組ンデ、先方カラコチラヘ、支那カラ日本ヘ金ヲ入レマス際ニ、金ヲ送ル條件ニ致シテ實行致シテ居ルノデアリマスカラ、結局本人ト政府トノ間ノ金ヲ入レル條件デアリマス、ソレデ今後モ實行致シテ行キタイト思ツテ居ル次第デアリマス

テ居ル人々ニ對スル此ノ點ヲドウ云フ風ニ調整シテ戴ケルカ、特ニ御考ヘ願ヒタイト思ツテ居ル點デアリマスガ、此ノ點ニ付テ何カ政府ニ於テ御考ガアリマセウカ、伺ツテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 貯蓄ノ割當ニ付キマシテハ、今日大體隣組ニ於キマシテ、都民税、市民税、左様ナ税ヲ目標ニシテ、ソレニ依ツテ割當等ヲ行ツテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ都民税、市民税ト云フヤウナモノハ、昔ノ戸數割ニ似タヤウナ所ガアルノデアリマシテ、實ハ町村ノ、比較的纏ツタ町村等ニ於テハ、オ互ノ懷口工合等モ割合分ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ標準ニシテ割當アルト云フコトガ、比較的衡平ヲ得テ居ルト思フノデ、從ツテオ互ノ間ノ不平ト云フコトモ比較的少イノデアリマスガ、殊ニ東京ノヤウナ大キナ所ガ、都民税ト云フモノヲ標準ニシテ割當アルト云フ所ニ、色々ノ實際ノ困難サガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、又實際今日都民税ヲ標準ニシテ割當アルト云フ結果ガ、アチラデモコチラデモ色々ノ物議ヲ生ジテ居ルコトハ承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、先般來大藏省ニ於キマシテ貯蓄運用委員會ト云フ非公式ナ委員會ヲ作リマシテ、貴衆兩院ノ方ニモ來テ戴キマシテ、三箇月ノ間、一週間ニ一回ツツ會議ヲ開キマシテ、サウシテ是等ノ割當問題等ヲ中心ニシマシテ、貯蓄ノ衡平化、公正化ヲ圖ルニ、ドウシタラ宜イカト云フ御相談ヲ致シタノデアリマスガ、ソレ等ノ結果ニモ基キマシテ、今回臨時資金調整法中ノ改正法律案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ改正法律案ノ中ニ都道府縣市町村ヲ通ジマシテ委員會ヲ作りタイ、デ此ノ割當等ノ問題

ニ付テモ十分ニ研究モシ、又不服等ノ申出モ聽イテ、其處デヨク判斷シタラドウカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方カラシマシテ、左様ナ法律ノ改正案ヲ實ハ提出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、段々税金モ高クナツテ來ル、貯蓄ノ額モ多クナツテ來ル、結局國民所得ノ全體カラ言ヘバ、負擔力アルト私共ハ考ヘテ居ル、又左様ナ筋道デアルノデアリマスカレドモ、所得ノ増加致シテ居ル人達ト、寧ロ孰レカト言ヘバ、所得ノ増加シナイ、又減少シテ居ル人達トガ、同ジヤウナ比率ノ下ニ今後此ノ貯蓄ノ割當ヲ負擔致シテ行クト云フコトハ、ナカノ實際問題トシテハ困難ニ相成ツテ來ルト思フノデアリマスカラ、來年度ノ貯蓄ノ割當ニ付キマシテハ、更ニ一層慎重ナル態度ヲ執リタイト思ツテ居ルノデアリマス、殊ニ俸給取ハ一方ニ於キマシテ職域ニ於テ貯蓄ヲ致シ、又地域ニ於テ貯蓄ヲ致シ、兩方面ニ於テ貯蓄ヲ致スノガ今日ノ普通ノ實例ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ間ノ調節ヲ如何致スカト云フコトモ極メテ重要ナ問題デアルト存ズルノデアリマス、サレバト云ツテ國全體カラ言ヒマシレバ、貯蓄ヲ減スト云フヤウナ狀況ニハ到底行カヌノデアリマシテ、昭和十九年ノ貯蓄目標額ガ四百十億ト云フノデアリマスガ、是ハ相當突破致ス實績ヲ示スコト疑フザイマセウガ、併シナガラ來年ハ六百億ニ貯蓄ノ目標額ヲ致サネバ總テノ繰リ合セガムツカシイト思フノデアリマスカラ、ドウシテモ六百億ヲ下ラヌト思フノデアリマス、左様ナコトヲ考ヘレバ、來年度ノ貯蓄ノ割當ト云フモノハ餘程慎重ニ致シテ行カネバナラヌト思ツテ居ルノデアリマス、只今委員長ノ御尋ノアリマシタ

點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ最モ苦心ヲ致シテ、目下其ノ調整ヲ研究致シテ居ル次第デアリマス

○委員長(侯爵德川義親君) 大臣ニ對スル御質疑ガゴザイマシレバ

○黒田英雄君 主計局長ニチヨツト御尋ネシタイノデアリマスガ、先程政務次官ノ御説明デ、色々節約額ノ内譯等ノ説明ガアリマシタ、其ノ中ニ年金ニ付キマシテ、昭和十八年度ニ於テ五千百萬餘圓デアリマシタカノ節約ヲシタ、其ノ結果公債ノ發行ガ減ツテ來タト云フヤウナ、一ツノ原因トシテ御話ガアツタノデアリマスカラ、此ノ歳出ノ方ヲ見マスト云フト、年金及恩給ニ於テ、年金恩給ハモウ逐年累加シテ參ツテ居ルコトハ過去ノ事實デアルノデアリマスガ、昭和二十年年度ノ豫算ニ於テハ昭和十九年度ニ對シマシテ極ク僅カデアリマスガ、四百五十餘萬圓ノ減少ニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ原因ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレト同時ニ、一方ニハ此ノ昭和十五年法律第六十九號中ノ改正大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲發行スル公債ガ、本年度カラ見マスト云フト來年度ニ於キマシテハ、八億六千五百三十萬圓ト云フモノノ増加ヲ計上サレテ居ル譯デアリマサガ、是ナドガ、或ハ金醵勸章ノ年金ガ一時賜金ニサレタト云フヤウナ關係モアルンデハナイイカト思フノデアリマサガ、ソレ等ノ點ヲ、一ツ公債發行ニ關聯シテ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ノ通りデゴザイマスガ、年々四千萬圓内外乃至八、九千萬圓ツツ増加致シテ參ツタノデアリマス、處方昭和二十年年度ノ豫算ニ於キマシテハ、前年度ノ豫算ニ比較致シマシテ寧ロ減少致シマシテ、約五百萬圓位減少ノ豫算ヲ計上致シテ居リマス、之ノ起リマシタ原因ハ大體三ツ考ヘラレルト思ヒマス、第一ノ原因ト致シマシテハ、恩給受給者タル軍人ガ應召致シマシテ、其ノ爲ニ恩給ヲ受ケナクナル、ソレデ恩給ガ要ラナイト云フノガ第一ノ原因デゴザイマス、試ニ昭和二十年年度ノ恩給年金ノ内容ヲ見マスト云フト、恩給ト致シマシテハ五億五千萬圓ヲ豫定致シテ居リマスガ、其ノ中ニ於キマシテ、陸軍軍人恩給ガ一億八千萬圓、海軍軍人恩給ガ二千三百萬圓ト云フ程度ノ額ヲ占メテ居リマス、是ガ即チ在郷軍人等ニシテ應召致シマスル爲ニ、此ノ陸軍軍人恩給、海軍軍人恩給ト云フモノノ所要額ガ減ツテ參リマスコト、其ノ爲ニ恩給額全體トシテハ増加シナクナルト云フコトデアリマス、殊ニ昨夏以來應召ガ非常ニ殖エマシテ、其ノ關係ニ於キマシテモ、來年度ノ恩給所要額ガ少クナル見込デゴザイマス、第二ノ原因ト致シマシテハ、只今モ御話ニナリマシタ通り金醵勸章年金ノ問題デゴザイマスガ、是ハ從來年金制デゴザイマシタノヲ、昭和十五年ノ四月カラダト思ヒマスガ、其ノ當時カラ一時賜金ノ制度ニ變リマシテ、年金制ガ止ツタノデゴザイマス、其ノ爲ニ金醵勸章年金トシテ所要ノ豫算額ハ漸次減少シテ參リマス、即チ年金ヲ受ケテ居ラレル方々ノ御死亡等ニ依リマシテ減リマス、一方新タナル年金ハ起ラナイト云フ關係デ、豫算額トシテハ年々減少

○委員長(侯爵德川義親君) 私カラチヨツト伺ヒマシケレドモ、先刻周布男爵ノ御質問ノ「インフレーション」ニ關シテ「インフレーション」對策トシテ、今貯蓄ノ獎勵、公債ノ強制的ニ持テト、例ヘバ隣組アタリヘ割當テヤツテ居リマスガ、此ノ問題デ今非常ニ不平ガ多イノハ、俸給生活者ニ對スル問題デアツテ、大體俸給生活者ト云フノハ生活スルダケノ俸給ヲ貰ツテ居ル譯デアラガ、其ノ物價ガ一方デ上ル所ヘ、其ノ上ニ又貯金ナリ公債ヲ無理ニ持タセラレルト云フコトハ、非常ニ辛イト云フコトデ不平ガ多イト思ヒマス、一方デハ先刻御話ガアツタヤウニ、新興階級ノ非常ニ金ノ入ル連中ニ、之ニ公債ヲ持タセルト云フコトガ、又其他軍需會社ノ關係者ノ如キ、非常ニ收入ノアル方面ニ其ノ點ガ少イト言ツタヤウナモノガアル、今一番難儀シテ居ルノガ俸給生活者デヤナイイカト思ヒマスガ、是ハ相當大キナ問題デアルト思フノデ、特ニ俸給生活者、又一定ノ收入ノ決ツ

テ居ル人々ニ對スル此ノ點ヲドウ云フ風ニ調整シテ戴ケルカ、特ニ御考ヘ願ヒタイト思ツテ居ル點デアリマスガ、此ノ點ニ付テ何カ政府ニ於テ御考ガアリマセウカ、伺ツテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 貯蓄ノ割當ニ付キマシテハ、今日大體隣組ニ於キマシテ、都民税、市民税、左様ナ税ヲ目標ニシテ、ソレニ依ツテ割當等ヲ行ツテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ都民税、市民税ト云フヤウナモノハ、昔ノ戸數割ニ似タヤウナ所ガアルノデアリマシテ、實ハ町村ノ、比較的纏ツタ町村等ニ於テハ、オ互ノ懷口工合等モ割合分ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ標準ニシテ割當アルト云フコトガ、比較的衡平ヲ得テ居ルト思フノデ、從ツテオ互ノ間ノ不平ト云フコトモ比較的少イノデアリマスガ、殊ニ東京ノヤウナ大キナ所ガ、都民税ト云フモノヲ標準ニシテ割當アルト云フ所ニ、色々ノ實際ノ困難サガ起ツテ來ルト思フノデアリマス、又實際今日都民税ヲ標準ニシテ割當アルト云フ結果ガ、アチラデモコチラデモ色々ノ物議ヲ生ジテ居ルコトハ承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、先般來大藏省ニ於キマシテ貯蓄運用委員會ト云フ非公式ナ委員會ヲ作リマシテ、貴衆兩院ノ方ニモ來テ戴キマシテ、三箇月ノ間、一週間ニ一回ツツ會議ヲ開キマシテ、サウシテ是等ノ割當問題等ヲ中心ニシマシテ、貯蓄ノ衡平化、公正化ヲ圖ルニ、ドウシタラ宜イカト云フ御相談ヲ致シタノデアリマスガ、ソレ等ノ結果ニモ基キマシテ、今回臨時資金調整法中ノ改正法律案ヲ提出致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ改正法律案ノ中ニ都道府縣市町村ヲ通ジマシテ委員會ヲ作りタイ、デ此ノ割當等ノ問題

ニ付テモ十分ニ研究モシ、又不服等ノ申出モ聽イテ、其處デヨク判斷シタラドウカ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方カラシマシテ、左様ナ法律ノ改正案ヲ實ハ提出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、段々税金モ高クナツテ來ル、貯蓄ノ額モ多クナツテ來ル、結局國民所得ノ全體カラ言ヘバ、負擔力アルト私共ハ考ヘテ居ル、又左様ナ筋道デアルノデアリマスカレドモ、所得ノ増加致シテ居ル人達ト、寧ロ孰レカト言ヘバ、所得ノ増加シナイ、又減少シテ居ル人達トガ、同ジヤウナ比率ノ下ニ今後此ノ貯蓄ノ割當ヲ負擔致シテ行クト云フコトハ、ナカノ實際問題トシテハ困難ニ相成ツテ來ルト思フノデアリマスカラ、來年度ノ貯蓄ノ割當ニ付キマシテハ、更ニ一層慎重ナル態度ヲ執リタイト思ツテ居ルノデアリマス、殊ニ俸給取ハ一方ニ於キマシテ職域ニ於テ貯蓄ヲ致シ、又地域ニ於テ貯蓄ヲ致シ、兩方面ニ於テ貯蓄ヲ致スノガ今日ノ普通ノ實例ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ間ノ調節ヲ如何致スカト云フコトモ極メテ重要ナ問題デアルト存ズルノデアリマス、サレバト云ツテ國全體カラ言ヒマシレバ、貯蓄ヲ減スト云フヤウナ狀況ニハ到底行カヌノデアリマシテ、昭和十九年ノ貯蓄目標額ガ四百十億ト云フノデアリマスガ、是ハ相當突破致ス實績ヲ示スコト疑フザイマセウガ、併シナガラ來年ハ六百億ニ貯蓄ノ目標額ヲ致サネバ總テノ繰リ合セガムツカシイト思フノデアリマスカラ、ドウシテモ六百億ヲ下ラヌト思フノデアリマス、左様ナコトヲ考ヘレバ、來年度ノ貯蓄ノ割當ト云フモノハ餘程慎重ニ致シテ行カネバナラヌト思ツテ居ルノデアリマス、只今委員長ノ御尋ノアリマシタ

點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ最モ苦心ヲ致シテ、目下其ノ調整ヲ研究致シテ居ル次第デアリマス

○委員長(侯爵德川義親君) 大臣ニ對スル御質疑ガゴザイマシレバ

○黒田英雄君 主計局長ニチヨツト御尋ネシタイノデアリマスガ、先程政務次官ノ御説明デ、色々節約額ノ内譯等ノ説明ガアリマシタ、其ノ中ニ年金ニ付キマシテ、昭和十八年度ニ於テ五千百萬餘圓デアリマシタカノ節約ヲシタ、其ノ結果公債ノ發行ガ減ツテ來タト云フヤウナ、一ツノ原因トシテ御話ガアツタノデアリマスカラ、此ノ歳出ノ方ヲ見マスト云フト、年金及恩給ニ於テ、年金恩給ハモウ逐年累加シテ參ツテ居ルコトハ過去ノ事實デアルノデアリマスガ、昭和二十年年度ノ豫算ニ於テハ昭和十九年度ニ對シマシテ極ク僅カデアリマスガ、四百五十餘萬圓ノ減少ニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ原因ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレト同時ニ、一方ニハ此ノ昭和十五年法律第六十九號中ノ改正大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲發行スル公債ガ、本年度カラ見マスト云フト來年度ニ於キマシテハ、八億六千五百三十萬圓ト云フモノノ増加ヲ計上サレテ居ル譯デアリマサガ、是ナドガ、或ハ金醵勸章ノ年金ガ一時賜金ニサレタト云フヤウナ關係モアルンデハナイイカト思フノデアリマサガ、ソレ等ノ點ヲ、一ツ公債發行ニ關聯シテ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ノ通りデゴザイマスガ、年々四千萬圓内外乃至八、九千萬圓ツツ増加致シテ參ツタノデアリマス、處方昭和二十年年度ノ豫算ニ於キマシテハ、前年度ノ豫算ニ比較致シマシテ寧ロ減少致シマシテ、約五百萬圓位減少ノ豫算ヲ計上致シテ居リマス、之ノ起リマシタ原因ハ大體三ツ考ヘラレルト思ヒマス、第一ノ原因ト致シマシテハ、恩給受給者タル軍人ガ應召致シマシテ、其ノ爲ニ恩給ヲ受ケナクナル、ソレデ恩給ガ要ラナイト云フノガ第一ノ原因デゴザイマス、試ニ昭和二十年年度ノ恩給年金ノ内容ヲ見マスト云フト、恩給ト致シマシテハ五億五千萬圓ヲ豫定致シテ居リマスガ、其ノ中ニ於キマシテ、陸軍軍人恩給ガ一億八千萬圓、海軍軍人恩給ガ二千三百萬圓ト云フ程度ノ額ヲ占メテ居リマス、是ガ即チ在郷軍人等ニシテ應召致シマスル爲ニ、此ノ陸軍軍人恩給、海軍軍人恩給ト云フモノノ所要額ガ減ツテ參リマスコト、其ノ爲ニ恩給額全體トシテハ増加シナクナルト云フコトデアリマス、殊ニ昨夏以來應召ガ非常ニ殖エマシテ、其ノ關係ニ於キマシテモ、來年度ノ恩給所要額ガ少クナル見込デゴザイマス、第二ノ原因ト致シマシテハ、只今モ御話ニナリマシタ通り金醵勸章年金ノ問題デゴザイマスガ、是ハ從來年金制デゴザイマシタノヲ、昭和十五年ノ四月カラダト思ヒマスガ、其ノ當時カラ一時賜金ノ制度ニ變リマシテ、年金制ガ止ツタノデゴザイマス、其ノ爲ニ金醵勸章年金トシテ所要ノ豫算額ハ漸次減少シテ參リマス、即チ年金ヲ受ケテ居ラレル方々ノ御死亡等ニ依リマシテ減リマス、一方新タナル年金ハ起ラナイト云フ關係デ、豫算額トシテハ年々減少

致シテ參ツテ居ルノデアリマス、尤モ金鵝勸章年金ガ一時賜金ニ變リマシテ、其ノ一時賜金ノ制度ト致シマシテハ、矢張り大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲ノ起價法ニ依ルコトニ相成ツテ居リマス、ソレカラ第三ノ原因ト致シマシテハ、遺族扶助料ノ裁定ノ問題デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ際デアリマスカラ、遺族ノ方々ノ御困リニナラヌヤウニ、政府ト致シマシテハ事變以來、出來得ル限り多額ノ豫産額ヲ計上致シマシテ、サウシテ裁定ヲ急イデ參ツテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ色々ナ事務輻湊等ノ爲ニ、政府ガ豫想シテ居リマス程度迄ハ裁定ガ進行致サナイト云フコトガアリマスノデ、其ノ爲ニ先程申上ゲマシタヤウニ、昭和十八年度ノ如キハ相當多額ノ不用額ヲ出サザルヲ得ナカッタト云フヤウナ狀況デアリマスカラ、此ノ際ト致シマシテハ、成ルベク眞ニ必要ナル豫算額ヲ計上スルコトヲ目標ト下ニ増加ヲ止メタノデアリマス、併シナガラ豫算ガナイカラ裁定ヲ遲ラスト云フヤウナコトハ、決シテ致サナイ積リデゴザイマシテ、出來得ル限り裁定ハ急ギマシテ、若シ不足ヲ生ジマスレバ、次ノ通常議會ニ於キマシテ、追加豫算ヲ御願ヒシテモ十分ニ間ニ合フコトト考ヘテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテハ、以上三ツノ原因ノ爲ニ今回ハ増額ヲ致サナイ、五百萬圓バカリノ減少額デ以テ十分ニ間ニ合フ見込デ計上致シテ居ルノデアリマス、大東亞戰爭ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲ノ公債發行限度ヲ、今回増額スルコトヲ御願ヒ致シテ居リマスガ、是ハ支那事變以來大東亞戰爭ニ發展致シマシテ、死傷者ノ軍人遺族ノ爲ニ一時賜金ガ賜與サレル

コトニ相成ツテ居リマスガ、是等ノ一時賜金ノ爲ニ必要ナル金額並ニ今申シマシタ金鵝勸章ノ一時賜金、是等ノ爲ニ必要ナル金額ヲ必要ト致シマスノデ、其ノ爲ニ公債發行限度ノ増加ヲ御願ヒ致シテ置ク次第デゴザイマス、以上簡單デゴザイマスガ

○子爵綾小路藩君 大藏當局ニ御尋ノ方ガアリマスレバ、私ノ御尋ハ、議題ニナツテ居ル法案直接ノ質問デアリマセヌカラ

○委員長(侯爵德川義親君) ドナタカ入金トノ割合ハ決ツテ居ルノデスカ、大體伺ヘレバ

○政府委員(樺木庚子郎君) 「公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得」ト法案ニゴザイマスガ、此ノ豫定ト致シマシテハ、借入金ハ只今ノ處全然豫定致シテ居リマセヌデ、公債ノ發行ノミヲ豫想致シテ居リマス

○委員長(侯爵德川義親君) 外ニ、大藏省ニ對スル御質問ガアリマシタラバ、ドウゾ

○子爵綾小路藩君 朝鮮總督府ノ政府委員ノ方ニ伺ヒタイと思ヒマスガ、朝鮮ノ米穀事情ト供出ノ模様ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 御答ヘ致シマス前ニ、先程私御答ヲ留保シテアリマシタガ、數字ニ付テチヨット申上ゲサセテ戴キマス、此ノ法律案ノ中ニアリマスガ、米等ノ獎勵金、報奨金ハドレ位ノ金額ヲ必要トスルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、御承知ノ通り此ノ獎勵金、報奨金ノ制度ハ、昭和十九年ノ產米カラ行ハレルト云フコトニナツテ居リマス、朝鮮關係ノ米穀等ニ對スル是等ノ所要金額ト致シマシテハ、

總額四千四百四十六萬圓ニナツテ居リマス、其ノ中二千九百十二萬圓ガ十九年度ノ既定豫算ヲ賄フコトニ相成ツテ居リマス、殘額ハ將來必要トスル金額ニ相成ツテ居リマス、御了承ヲ願ヒマス、只今御質問ノ朝鮮ニ於ケル食糧ノ事情ハ如何デアルカ、米等ノ供出ノ有様ハドウカト云フ御質問デアリマス、先程モチヨット申上ゲマシタヤウニ、昭和十四年以來朝鮮ノ食糧事情ハ兎角不調勝チデゴザイマシタ、一昨年ノ昭和十八年ノ秋ニ穫レマシタ米、一昨年ノ十一月カラ昨年ノ十月迄ノ間ノ食糧ノ狀況ヲ先ヅ申上ゲマスレバ、昭和十八年ノ秋ニハ米ガ凡ソ〇〇石程穫レマシテ、昨年ノ麥ハ、是ハ食糧ハ米ト麥ト雜穀ガ殆ト大部分デアリマス、朝鮮ニ於キマシテハ、米四分、麥、雜穀六分、米ノ方ガ食ベルノガ少ウデゴザイマス、一昨年秋ニ〇〇石程穫レマシタ、昨年ノ夏ノ麥ガ、平年作ハ八百六十萬石デアリマスガ、約〇割近ク增收ニ相成リマシテ〇〇石程穫レマシタ、ソレカラ昨年ノ年度ニ屬スル雜穀ガ凡ソ平年作程度デ〇〇石、是等ヲ合計致シマシテ、其ノ外ニ滿洲カラ雜穀ヲ〇〇石入レル、内地、滿洲、朝鮮ノ當局間ノ話合デ〇〇石入レルト云フコトニ相成ツタノデアリマテ、彼此致シマシテ、供給力ガ米ト麥ト雜穀ト滿洲カラ輸入スル雜穀ト合セマシテ、凡ソ〇〇石程ニ相成リマシタ、斯ク致シマシテ、内地其ノ他必要ナル方面ニ〇〇石ノ米ヲ朝鮮カラ出ス、詰リ滿洲カラ〇〇石程入レテ戴キマシテ、〇〇石ノ米ヲ内地其ノ他必要トセラレル方面ニ朝鮮カラ出ス、斯ウ云フ計畫デ食糧ヲ賄ツテ參リマシタ、結局朝鮮内ニ於キマシテ、昨年中ニ消費致シマシタモノガ、今申シマシタ差引勘定ヲ致シマシテ、凡ソ〇〇石ト云フモノガ朝鮮内ニ於テ純粹ニ消費セラレタモノデアアル、斯ウ云フヤウニ御考ヘ願ツテ宜シウデゴザイマス、然ラバソレデケデ食糧ヲ賄ツテ割合ニウマクヤレテ來テ居ルカト申シマス、率直ニ申シマシテ、非常ニ窮屈デゴザイマシタ、昨年ノ五月六月ノ端境期、丁度麥ノ穫レマス前ナドハ、地方ニ參リマスルト、山野草ヲ採ツテ食ベマスノハ勿論デアリマスガ、江原道、咸鏡南道アタリ、我々旅行シテ見マシテ汽車デ御覽ニナツテモ、チヨット其ノ當時眼ニ着キマシタガ、松ノ手ノ屆ク程度ノ三四尺ノ間、松ノ皮ガスツカリ剝ガサレル、是ハ松ノ皮ノ薄皮ヲ食糧ニ採ツテ食ベル、コンナヤウナ狀況デアリマシタ、非常ニ窮屈シタ事情デアリマシタ、昨年八月初メニ阿部現總督ノ御著任ニナリマシタ當時モ、食糧ニ付テハ隨分逼迫致シテ居リマシタ、形式的ハ一人當リ二合三勺ノ配給、是ハ米ト雜穀、豆、全部ヲ合セテ二合三勺ト云フコトニナツテ居リマスガ、我々京城ニ居リマス者モ〇〇ト云フ程度デアリマシテ、何トカシテ豫定ノ二合三勺ダケハ、或ハ削減リノ減少トカ、其ノ他色々ナ方策ヲ講ジテ、豫定ノ二合三勺迄ハ何トカシテ配給サセタイナト、斯ウ云フ阿部總督ノ御考デ、ソレニ付テハ食糧當局ハ苦心致シタ次第デアリマス、併シナガラ何ト申シマシテモ、内地其ノ他ノ方面ニ米ヲドウシテモ供出シナケレバナラヌト云フノデ、朝鮮ト致シマシテハ、只今申シタ數字デ何トカ今日迄切抜ケテ參ツタヤウナ事情デアリマス、今年ハドウデアルカ、昨年中ニ十一月カラ始メマシテ今年ノ十月迄ノ今年ノ狀況ハドウデアルカト申シマス、是モ先程申上ゲマシ

タヤウニ、昨年ノ米ノ收穫ガ非常ニ惡ウデゴザイマシテ、一昨年ニ比ベマシテ凡ソ〇〇石ノ減收ノ〇〇石、平年作ニ較ベマシテ約〇〇石ノ減收ト云フコトニ相成ツテ居リマス、實ハ此ノ米ノ收穫量ニ付キマシテハ、何ト申シマスガ、ドウモ少シ農民ノ方ニ含ミガアル數字ニナツテ居ルノデヤナイカナト云フ風ニ見ラレタ方モ、一部ニ行ハレテ居ツタヤニ見受ケルノデアリマスガ、ドウモ今年ノ狀況ハ、我々見マシテ率直ニ申シマシテ、寧ロ農家ガ手ニ持ツテ居ルノガアルト云フナラバ、是ハ事態トシテ非常ニ宜イト思ヒマスガ、是ハ道義的ニ見マスレバ別デアリマス、併シ是ガ實ハ非常ニ含ミガゴザイマセヌデ、ギリギリノ數字ノヤウデゴザイマス、ト申シマスノハ、別ノ方面カラ觀測致シマシテ、東拓ガ全鮮ニ農場ヲ有ツテ居リマシテ、是ハ地主トシテ土地經營ヲシテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、東拓ノ小作料收入ト云フモノヲ昨今ト今年ト比ベテ見マス、小作料收入ガ約一割何分削減ツテ居リマス、昨年ノ〇〇石ト云フノニ比ベテ一割減收ノ〇〇石ト云フギリギリノ數字ノヤウデアリマス、之ニ對シマシテ雜穀ハ幸ヒ昨年穫レマシタノガ平年作〇〇石デアリマスガ、是ハ矢張り〇割餘ノ增收デ〇〇石穫レマシタ、來レベキ五六月ノ麥ガ平年作ノ〇〇石程穫レルト致シマスルト、今ノ〇〇石、雜穀ノ〇〇石、麥ノ〇〇石、之ヲ彼此加ヘマス約〇〇石近クニ相成リマス、ソレニ對シマシテ人口ノ増加其ノ他ニ伴フ消費ノ増ヲ見込ミマス、消費ノ方面ハ、昨云フ風ニナリマス、消費ノ方面ハ、昨年ガ〇〇石消費ヲ賄ツテ來マシタガ、ソレニ人口ノ増加其ノ他ノ消費増ヲ見

シテ、凡ソ〇〇石ト云フモノガ朝鮮内ニ於テ純粹ニ消費セラレタモノデアアル、斯ウ云フヤウニ御考ヘ願ツテ宜シウデゴザイマス、然ラバソレデケデ食糧ヲ賄ツテ割合ニウマクヤレテ來テ居ルカト申シマス、率直ニ申シマシテ、非常ニ窮屈デゴザイマシタ、昨年ノ五月六月ノ端境期、丁度麥ノ穫レマス前ナドハ、地方ニ參リマスルト、山野草ヲ採ツテ食ベマスノハ勿論デアリマスガ、江原道、咸鏡南道アタリ、我々旅行シテ見マシテ汽車デ御覽ニナツテモ、チヨット其ノ當時眼ニ着キマシタガ、松ノ手ノ屆ク程度ノ三四尺ノ間、松ノ皮ガスツカリ剝ガサレル、是ハ松ノ皮ノ薄皮ヲ食糧ニ採ツテ食ベル、コンナヤウナ狀況デアリマシタ、非常ニ窮屈シタ事情デアリマシタ、昨年八月初メニ阿部現總督ノ御著任ニナリマシタ當時モ、食糧ニ付テハ隨分逼迫致シテ居リマシタ、形式的ハ一人當リ二合三勺ノ配給、是ハ米ト雜穀、豆、全部ヲ合セテ二合三勺ト云フコトニナツテ居リマスガ、我々京城ニ居リマス者モ〇〇ト云フ程度デアリマシテ、何トカシテ豫定ノ二合三勺ダケハ、或ハ削減リノ減少トカ、其ノ他色々ナ方策ヲ講ジテ、豫定ノ二合三勺迄ハ何トカシテ配給サセタイナト、斯ウ云フ阿部總督ノ御考デ、ソレニ付テハ食糧當局ハ苦心致シタ次第デアリマス、併シナガラ何ト申シマシテモ、内地其ノ他ノ方面ニ米ヲドウシテモ供出シナケレバナラヌト云フノデ、朝鮮ト致シマシテハ、只今申シタ數字デ何トカ今日迄切抜ケテ參ツタヤウナ事情デアリマス、今年ハドウデアルカ、昨年中ニ十一月カラ始メマシテ今年ノ十月迄ノ今年ノ狀況ハドウデアルカト申シマス、是モ先程申上ゲマシ

ルト○石位今年ハ要ルノデヤナイカ、之ニ對スル供給ガ、只今由上ゲマシタ麥ヲ平年作トスルト、○石ソコ、麥ヲ平年作ト見タ場合差引致シマシテ若干ノ不足ヲ來スノデヤナイカト考ヘテ居リマス、併シ麥作ニ付キマシテハ増産計畫モ立テテ居リマスシ、有ラユル努力ヲ拂ヒマシテ、此ノ夏ニ穫ルベキ麥ヲ昨年ト同ジ位、或ハソレ以上獲ラウト云フコトデ折角努力申デアリマスノデ、ス様ニ致シマスルト、何トカソコノ昨年位ノ程度デトシ、ニ行クノデヤナイカト見テ居リマス、併シナガラ内地ニ對スル米ノ供出ハ、是ハ何トシテモ朝鮮トシテハ出來ルダケノコトハシナケレバナリマセヌノデ、只今ノ處デハ今申シタヤウニ麥ノ或程度豐作ヲ豫定致シマシテ、大體トシ、ト云フ數字デアリマスガ、更ニ芋ヲ食ベルトカ、或ハ場合ニ依ツテハ山野草ヲ食ベルト云フコトデ、何トカシテ○石程度米ヲ抽出致サウ、滿洲カラ○石程度ノ雜穀、是ハ運輸關係モアリマスルト、○石程度ノ雜穀ヲ滿洲カラ入レテ戴キ、朝鮮自體トシテ今申シタヤウナ状態デアリマスガ、何トカ○石程度抽出致シマシテ、○石程度ノ米ハ、内地其ノ他ノ必要ナ方面ニ朝鮮トシテハ出サセテ戴ク、供出ヲスル、今ノ處斯ウ云フ風ノ計畫デ進ンデ居ル譯デアリマス、食糧ノ供出ノ面ニ付キマシテハ、皆サンノ御耳ニモ少シ酷イヤリ方ヲスルノデヤナイカト云フヤウナ點モ一二ノ例トシテ入ツテ居リハシナイカト思ヒマスガ、行政ノ當局ト致シマシテハ、末端ニ迄中央ノ考ヘテ居ルコトガ能ク徹底スルヤウニト云フ風ナコトヲヤカマシク申シマシテ、實嚴宜シキヲ制スルヤウニ指導

ハ致シテ居リマスガ、何ト申シマシテモ、今年モ矢張り今申シタヤウニ約○石ハドウシテモ出サウト云フコトデ、米ノ買上モ○石ト云フコトヲ豫定シテ居リマスノデ、此ノ食糧ノ供出ノ問題ニ付キマシテハ、朝鮮ノ何ト申シマスカ延イテハ治安ノ問題ニモ響ク所ガアリマスノデ、行政ノ當局トシテハソレハ適當ナ措置ヲ執ルヤウナ苦心ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○子爵綾小路謹啓 次ニ御伺ヒ申シタノハ、勞働力ノ問題デスガ、最近内地ニ朝鮮ノ勞働者ガ相當多數勞働ニ從事ナサレテ居ルノガ見受ケラレマスガ、其ノ結果ハ現地朝鮮ノ勞働力ニ不足ヲ來シ産米ニ重大ナ影響ハナイモノデアリマセウカ、其ノ邊ノ關係ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 朝鮮ガ我が國ノ勞務給源地トシマシテ、殊ニ今迄壯丁ヲ出シテ居ラナカタト云フ風ナ關係デ、勞務給源地トシテ相當ナ役割ヲシナケレバナラヌト云フコトハ常識ノ問題デアリマス、昭和十四年迄ハドチラカト申シマス、朝鮮カラ内地ヘ來テハイケナイト云フコトニ相成ツテ居リマシタガ、十四年カラ俄然勞働者ヲ出來ルダケ寄越セト云フコトニナリマシテ、十四年カラ十八年迄ニ、凡ソ○人程ノ勞働者ヲ内地ニ送ツテ居リマス、尙右ノ外ニ軍ノ要員ト致シマシテモ相當ナ數ニ上ツテ居リマス、朝鮮自體ト致シマシテモ、殊ニ西鮮北鮮地方ニ於ケル鑛工業ノ發展ニ伴ヒマシテ、相當ナ勞働力ヲ必要トスル狀況ニ相成リマシタ、殊ニ昭和十九年度ニ入リマシテハ、十四年カラ十八年迄ハ今申シマシタヤウニ、一年ニ大體○人ヲ内地ヘ送出スルト云フコトニナツテ

居リマシタガ、昭和十九年度ニ入りマシテ、初メハ○人内地ヘ吳レルヤウニト云フコトデアリマシタガ、中頃ニナリマシテ○人餘計入レテ吳レ、○人吳レト云フ、然ルニ内地ノ勞務事情ガ窮迫シテ、更ニ○人追加シテ○人勞力ヲ寄越セト云フ風ナ御要望デアリマシタ、毎年○人送りマシマスニ付キマシテモ、相當苦勞致シテ居リマスガ、今年ハ○人ノ勞力ヲ出セト云フノデアリマス、併シ是モ内地ノ至上シテモシナケレバナリマセヌ、ソコデ○人全部トハ參リマセヌガ、既ニ此ノ十二月迄ニ○人ヲ送出シテ居ルト云フ狀況デアリマス、御尋ノ勞務者ヲ内地等ニ送り出ス爲ニ、農村ノ勞力ニ枯渇ヲ來シテ、米其ノ他食糧ノ増産ニ支障ヲ來シハシナイカト云フコトハ、御尤モ御懸念デアリマス、朝鮮ノ勞務給源地ハ殆ドガ農村デゴザイマス、殊ニ京城カラ南方ノ全羅南北道、慶尙南道、此ノ米地帶ニ於ケル農家ガ勞力ノ給源地ニナツテ居リマスガ、今日ノヤウニ非常ナ勢ヲ以テ勞力ノ内地方面ガ要求セラレルト云フコトニナリマス、其ノ點ニ付テノ若干ノ懸念ガナイトハ申サレマセヌガ、併シナガラ朝鮮トシマシテハ、尙婦人ノ勞力ノ使用ト云フコトニ付テハ、内地ニ比ベテ未ダシデゴザイマスシ、尙最近學徒ノ勤勞動員ト云フヤウナコトモゴザイマスルシ、殊ニ朝鮮ノ農村ト致シマシテハ、朝鮮ノ粗策ナ農業、朝鮮ノ農耕地、耕作戸數ト云フヤウナ點カラ考ヘマシテ、尙此處ニ若干、何ト申シマスカ整備スルト申シマスガ、一戸當リノ耕作面積ガ、朝鮮全體ト致シマシテ、田畑ノ合膨脹ヲ阻止スルト云フ色々施策ノ一

ツトシテ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、租税ノ増徴、貯蓄ノ増強ソレデハハ先程來段々御話ノアリマシタヤウニ、此ノ通貨膨脹ノ勢ヒヲ阻止スルニ尙十分デナイト思ハレル點ガアリマス、ソレ等デ以テ目的ヲ達スルコトノ出來ナイ部分ニ對シテ、富籤式ノ證票ヲ發行シテ行カウ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス

○男爵周布兼道君 サウシマスト直接ニ大藏省カラ行ハレルノデアリマスガ、例ヘバ勸業銀行ナリ何ナリヲ通シテ、ア、云フ方面カラ出ルノデゴザイマセウカ、ドウデセウカ

○子爵綾小路謹啓 尙勞務關係ニ付テ御尋ネシタイノデスガ、是ハ速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(侯爵德川義親君) 速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(侯爵德川義親君) 速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(侯爵德川義親君) 速記ヲ止メテ下サイ

○政府委員(氏家武君) 富籤ハ、實ハ富籤トハ申サナイコトニナツテ居リマシテ、勝利ト云フ名前デ賣出スコトニナツテ居リマス、此ノ勝利ノ發行ハ、外ノ國ノ例ヲ見マス、大抵政府ガ直接ニ發行致シテ居リマスガ、我が國デ今回實施致スモノハ、大體日本勸業銀行ヲ使フト云フコトニナツテ居リマス、此處デ今迄割増金附ノ色々ナ貯蓄ノ方法ヲ取扱ツテ居リマシテ、抽籤等ニ付テモ相當經驗モ技術モ持ツテ居リマスノデ、其ノ方ノ手ヲ借リル、併シサウ致シマス勝札ヲ賣リマスレバ、マア大體半分位ノモノハ返サナイコトニナリマスカラ、ソレデケ儲カルト云フコトニナリマス、其ノ分ハ政府ノ方ニ納付サセル、斯ウ云フコトニ法律ノ上ニモ規定致シテアリマス、是ハ臨時軍事費ノ財源ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○男爵周布兼道君 サウシマス、此ノ第十條ノ十二ナゾハ、ソレニ當ルノデゴザイマス

○政府委員(氏家武君) サウ云フコトニナリマス

○委員長(侯爵德川義親君) 大體御質問ハ終リマシタデセウカ、ソレデハ是カラ討論ニ移リタイと思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵德川義親君) ソレデハ昭和二十年年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案、金資金特別會計法外五法律中改正法律案、此ノ二ツノ法案ヲ議題ニ供シマシテ、討論ニ移リタイと思ヒマス

○瀧川儀作君 私ハ大體、原案ニ賛成、致スノデゴザイマスガ、只今「インフレ」ノ問題及ビ富籤ノ問題ガ出マシタノデゴザイマスガ、公債發行ノ制當ノ運營法ト言ヒマスガ、制當方法其ノ他直接ニ付テハ相當議論ガアリマスケレドモ、單ニ「インフレ」ノ面カラ見タナラバ、大藏省ノ稅率ハ順調ニ行ツテ居ルンデヤナイカ、斯ウ存ズルノデゴザイマス、併シナガラ私ハ多年労働者ヲ使用シマシタ經驗上、色々此ノ方面ノ調整ヲ致シテ見タノデアリマスガ、農産物、林産物或ハ水産物ニシテモ、鑛山、「マイニング」ノ方ノ鑛業ノ生産品ノ原價ニ付テモ、勞銀ガ大部分ヲ占メテ居ル、統計モ取ツテ見タコトモアルノデアリマスガ、完全ナモノデアリマセヌカラ差控ヘテ置キマスガ、八十「パーセン

ト」位ハ勞銀デアリマス、労働者ハドウシテモ貯金ト云フコトハ、色々何十年間私ヤツテ見マシタガ、政府ニ貯金ヲスル、銀行ニ貯金ヲスルコトヲ嫌ヒマシテ、ドウシテモ此ノ際労働者ノ金ヲ吸收スル方法ヲ採ルニハ富籤ノ方法ヨリ外ニナイデヤナイカ、又是以外ノ臨時不勞所得ト言ヒマスガ、臨時ノ戰時ノ事業、軍事業ヲ始メトシテ、其ノ他戰

争ニ關係ナル事業ヲ經營セラレテ居ルモノニ相當大キチ收穫モアリマスガ、配當制限ガアツタリ致シマシテ、色々其ノ處分ニ困ル、サウ云フモノヲ吸收スルノハ富籤ノ方法ニ依リマスガ、或ハ競馬ヲ馬匹獎勵ト言ヒマスガ、モウ少シ盛ニナサイマスガ、或ハモウ一ツ進ンデハ、清算取引所ハ殆ド全廢セラレタヤウナ形ニナツテ居リマスガ、是等ノ方面ニ、モウ少シ監督ヲ嚴ニシテ、盛ニシテ吸收スルヤウニスルニ非ザレバ、「インフレーション」防止ハ困難デヤナイカ、斯ウ云フ意味合カラ社會問題、道德問題トシテハ、多少議論ノ餘地ガアルカモ知レマセヌガ、富籤ナシカモ方法ニ依リマスガ、名前ハ何デモ宜シウゴザイマスガ、之ヲ認メルコ、ハ此ノ際已ムヲ得ヌノデヤナイカ、惡性ノ「インフレ」ノ發生スル原因ニナルモノハ、労働者ノ所得カラ來ルノデアリマス、彼等ハ禮儀ヲ辨ヘナイデ害毒ヲ流スノハ、一番アノ方面ニ多イト思ヒマスカラ、此ノ方面ニ相當議論ノ餘地ハアリマスケレドモ、政府ノ政策是ナリト信ジテ、私、原案ニ賛成スルノデアリマス

○委員長(侯爵德川義親君) 外ニ御意見ハアリマセヌカ、ソレデハ、ナケレバ討論ヲ終結致シマシテ、採決ニ移リタイと思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵德川義親君) 御異議ナイト認メマス、兩法案共原案通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵德川義親君) 御異議ナイト認メマス、兩案共全會一致ヲ以テ、

原案通り可決致シマシタ、有難ウゴザイマシタ、是デ委員會ヲ終リマス
午後零時十一分散會
出席者左ノ如シ

委員長 侯爵德川 義親君
副委員長 兒玉 謙次君
委員

伯爵堀田 正恒君
子爵柳澤 光治君
子爵綾小路 護君
男爵周布 兼道君
黒田 英雄君
松本 學君
瀧川 儀作君
諸橋久太郎君
塩田 團平君

國務大臣 大藏大臣 石渡莊太郎君

政府委員 內務省管理局長 竹内 徳治君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 高橋 衛君

大藏政務次官 小笠原三九郎君

大藏參與官 田村 秀吉君

大藏省總務局長 山際 正道君

大藏省主計局長 植木庚子郎君

大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君

大藏省理財局長 式村 義雄君

大藏書記官 窪谷 直光君